

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(3/5)

文・写真：武田、写真：山國

日時：2020(令和2)年 3月5日(木) 9:30～16:00

気象：雪、気温 0℃

活動エリア：44 林班ろ-03、調査区①～④

活動内容：林床整備(切倒し間伐木や倒木の整理・棚積み、落枝整理)、調査区の整備と立木調査

参加者：斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、越野雅美、武田寿夫、茂木完治、山國

計 8名

<雪・雪・雪・雪>

♪こな雪 つぶ雪 わた雪 ざらめ雪 みず雪 かた雪 春待つ氷雪♪(唄：新沼謙治「津軽恋女」)

暦は「啓蟄」、ところが終日、晴れたり降ったり。頭を出した昆虫達も慌てて土中にU-ターン？森林づくり初体験の空模様。春の戻り雪だが、皆さん引き返そうの声なし。様子を見ながら作業を開始。

各四人、2班に分かれての作業、倉谷組は後回しにしていた「44 林班ろ」の下手斜面の林床整備、斧田組はモニタリング調査区4ヶ所の仕上げと立木調査。

<今日の成果>

さて、「44 林班ろ」。斜面は例によって切倒し木が累々。襟元には時々雪や霰が飛び込む悪条件、チェーンの助けも無し。それでも約0.1haを整備。伐倒木は沢山の枝を残したものが多く、その切り離し・棚積みにも手古摺る。調査区組は間伐は十分か、枯損木・倒木の処理はどうか、現況を「さとり事務局」に報告し、次年度に繋げる必要がある。

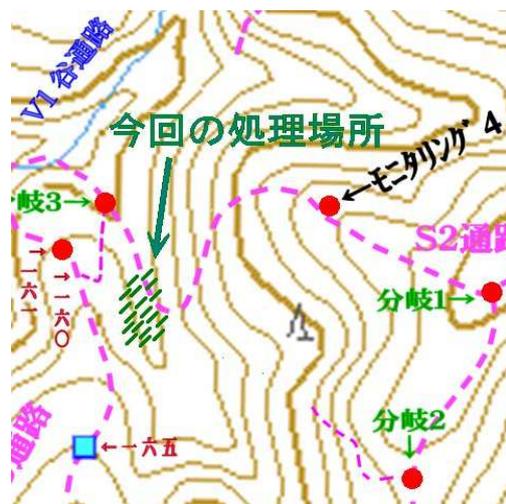
<写真編>

作業編、春の戻り雪編の二本立て(附：モニタリング調査区の整備状況)

【集合写真】



【活動地要図】



◆作業編

【雪中の作業】



【枝切り中—玉切りしても厄介な枝の始末】



【到着時：作業前、斜面は間伐木が累々】 →→→



→ 【昼食時：斜面の棚積みを見て下さい】



【活動開始前のモニタリング調査区④ 2017.7】 →



→ 【活動3年目の調査区④ 2020.3】



◆春の戻り雪編

【身支度中一降り始める雪に呆れ顔】



【東海自然歩道：ロータリー付近】



【雪を纏ったヒノキー山頂部】



【郡上八幡の戻り雪(3月5日(井上会員))】



【寒椿に雪一季節は春へ】

→→→



→【♪春 すみれ咲き 春を告げる♪】(於 本山寺内)



—「すみれの花の咲く頃」の歌い出し